

ごみの減量化の必要性

ごみの減量化が必要とされる理由の一つは、その処理にかかる大きな費用にあります。たとえば本町では、可燃ごみの処理に年間で約1億2,600万円を要しており、これは町の一般会計予算（約95億円）のおよそ1.3%にあたります。

一見すると小さな割合に見えるかもしれませんが、町の財政にとって決して軽い負担ではありません。こうした費用は、収集や運搬、焼却などの工程にかかっており、すべて町民の皆さまの税金でまかなわれています。

ごみが減れば、処理費用も抑えられ、他の重要な行政サービスに充てられる財源が生まれます。私たち一人ひとりの行動が、町の未来を支えることにつながります。

富士見町 ごみ処理費用内訳



焼却
8,900万円

収集運搬
3,700万円

